

2020年1月31日

【NEグループ：フォー・クオリア】 「スマートシティシンポジウム」にて代表松永登壇のご報告

日本エンタープライズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：植田勝典）の子会社、株式会社フォー・クオリア(本社：東京都品川区、代表取締役社長：松永州央、以下フォー・クオリア)の代表取締役社長 松永州央が、2019年12月14日（土）に山口県宇部市で開催された「スマートシティシンポジウム2019・うべ」（主催：宇部市）にて、パネリストの一人として登壇しましたので、ご報告いたします。

スマートシティは、政府の提唱するSociety5.0社会の実現にむけ、先端的ICT技術を活用し市民の利便性や快適性を高めるとともに安全・安心な街づくりが期待される取組みです。同シンポジウムは、地方都市における様々な課題に取り組んできた宇部市に対し、福島県会津若松市のスマートシティ構築に貢献する当社子会社の株式会社会津ラボ（以下、会津ラボ）と、山口県宇部市で再生エネルギーを通じた地域創生に取り組むフォー・クオリア子会社の山口再エネ・ファクトリー株式会社（以下、山口再エネ）の代表を務める松永が、宇部市へスマートシティの重要性について働きかけ、開催を実現しました。

パネルディスカッションでは、松永は会津ラボが観光客増加に貢献したアプリケーション開発を紹介したほか、事業創生による若者定着率の向上や教育機関の連携など会津若松市での事例を用い、スマートシティの有効性を紹介しました。

会津ラボはコンピュータサイエンス領域で多くの研究者を有する会津大学から創業したソフトウェア開発を手掛けるベンチャー企業です。福島県会津若松市が東日本大震災の復興事業の一環として取り組む「スマートシティ会津若松」の推進にも従事しています。松永は2018年7月に同代表に就任。アプリ開発会社であるフォー・クオリアで培った技術の事業化推進力を活かし、会津ラボの事業を通じて会津若松市のスマートシティ構築に貢献しており、また、山口再エネにおいても2015年6月に設立後、スマートシティ構築へ向け、太陽光発電を通じた“エネルギーの地産地消”に取り組んでいます。

当グループはグループシナジーを活かし、宇部市・地元民間企業・各有識者と毎月の定例会を設けて協議を重ねて、今後も宇部市のスマートシティ構築に貢献してまいります。



松永：画像左から2番目



シンポジウムには地元市民約200名が聴講した

本件に関するお問合せ

日本エンタープライズ株式会社（広報・IRグループ）

TEL:03-5774-5730 EMAIL:ir@nihon-e.co.jp <http://www.nihon-e.co.jp>